

柚ノ木

ビカリヤの里 ー宮ヶ島橋下流ー

室牧川沿いの県道230号線を高熊から八尾ダムへ向かうと、対岸に宮ヶ島地区が見えてきます。宮ヶ島地区へ渡る橋の下流側に化石を含む露頭があります。この層は黒瀬谷層に属し、黒っぽい砂質泥質砂岩の中に二枚貝や巻き貝、植物の破片などの化石があります。



室牧川の水量はあまり多くないのですが、化石のある露頭は急な斜面になっているので、採取する時には注意が必要です。井栗谷や掛畑、高熊（打合）と同じような種類の化石がとれるので、これら4つを関連づけて学習すると、地層の広がりを実感できます。ビカリヤを鍵として、同じ時代に堆積した地層として考えていくことができるのではないのでしょうか。

柚ノ木で採取された貝化石



イトイガワハマグリ

ヨコヤマビカリヤ

ノトビカリエラ

ヤツオヘタナリ



イタボガキ



オキシジミ



スナコザクマガキ

※ 写真と実際の大きさとは違います。